

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	6	竹 田 努	
<p>1. 人口減に伴う町の将来について</p> <p>定住対策、子育て支援対策について、これまでも取り組んできましたが、人口減に歯止めがかからなかったように思います。</p> <p>昨年、策定しました「第6次木古内町振興計画」は、第5次の10年間の検証結果を踏まえた向こう10か年間の基本計画であります。</p> <p>5月10日の新聞記事に、「自治体の危機、将来消滅する可能性の自治体」の一覧が掲載され、私ばかりでなく町民からも、「今はいいけど、子どもや孫の時代になったらどうなるか。」などの声を耳にします。</p> <p>町長は、「安心して暮らせ、生涯にわたり希望や生き甲斐を持ち続けられる北の大地の福祉都市『きこない』を目指す。」と明言しておりますが、町長として町民に安心をどう伝える考えなのか。</p> <p>また、町のビジョンを見直す考えがあるのか見解を求めます。</p>			町 長
<p>2. 北海道新幹線開業をどう活かすのか</p> <p>2年弱に迫った「夢の北海道新幹線」開業。いま、そのための色々な整備が順調に進んでいます。一方で、事業等が進み、駅前通りを見ると寂しさを感じることもあります。「新幹線のまち」としてチャンスを活かすべきであり、生き残るにはこのことよりないのではないかと感じています。</p> <p>町長は、常日頃から、「いかに多くの人に乗り降りしていただくか、このことにすべてが係っている。」と強調してきています。</p> <p>当然、そのための受け皿となる木古内町の魅力ある観光や観光交流センターを中心に、渡島西部・桧山南部と連携した広域観光が順調に進められているところであります。</p> <p>多くの方をお迎えするための、おもてなしの精神はどうでしょうか。官民一体で取り組まなければならないものと思われまます。</p> <p>新幹線から降りて、「木古内町を見て、素敵なお町、きれいな町、寒中みそぎの町らしい。」などと感じていただけるかが大事な鍵になるのではないのでしょうか。</p> <p>何処を目指していくのか、町長の見解を求めます。</p>			町 長